

# スマート林業教育推進事業

【令和6年度予算額 15,000（16,000）千円】

- スマート林業の推進にあたり、次代を担う人材を育成する林業高校や林業大学校における教育の充実が重要です。
- 林業高校の5割程度が教員の知識・経験不足、7割程度がスマート林業教育に対する課題を感じている状況です。（R4年度林野庁調べ）
- このため、実習機会や教材、教員の専門知識等の不足を補い、全国で一定水準以上のスマート林業の学習機会を確保し、将来の林業を担う高校生等に対してスマート林業への関心を高め、卒業後にスマート林業を実践できる人材を育成することを目標に事業を実施します。

## 1.地域協働型スマート林業教育プログラムの作成・実施

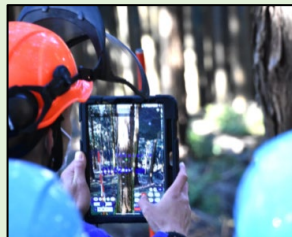
スマート林業を林業高校等の実習へ導入することを目的に、**林業高校等と地域の林業経営体、地方公共団体等が連携して「地域協働型スマート林業教育プログラム」を作成、実施**します。

### これまで林業高校で作成、実施したプログラム

QGISを活用した  
演習林の実態把握

専用アプリを立木に  
かざしデータを取得

森林組合による  
ドローン測量の授業



昨年度は3校において実施し、令和6年度においても同程度の学校数で実施します。作成した教育プログラムは林野庁ホームページに掲載します。

### 成果報告

## 2.スマート林業教育学習コンテンツの作成・配信

林業高校等の教育現場へのスマート林業教育の導入を促進することを目的に、**授業や自習用の教材として活用できるオンライン学習コンテンツを作成、配信**します。

スマート林業教育学習コンテンツを作成し、事業年度はオンライン学習サービス等で配信、事業終了後は農林水産省youtubeチャンネル（maffchannel）で配信。

### R4年度作成した学習コンテンツの様子



### 講義内容

令和4年度  
森林の測定  
伐採、造材、集材  
持続可能な林業に向けて  
林業で働く人々

令和5年度  
木材の流通  
木材の利用  
造林  
これからの林業経営

令和6年度（予定）  
造林、育苗、鳥獣被害、森林の活用  
労働安全



高校教科書「森林経営」「森林科学」等の授業や自習用の教材として活用できる内容を優先度の高いパートから順次作成

### 成果報告

## 3.スマート林業教育推進サミット（オンライン）の開催

全国の林業高校の教職員及び都道府県の林業高校担当職員等を対象とし、**林業高校等におけるスマート林業教育の普及に向けた課題や対応策を提起し共有する場としてWebによるサミットを開催します（1、2の成果報告も実施）。**

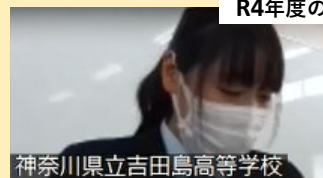
取組内容がとても分かりやすく整理されており、生徒達のリアルな感想も発表でまとめられており、とても参考になった。

スマート林業教育の実践には関連団体との連携が重要と思った。関連団体との連携方法についてとても知りたい。

想像以上の取組が高校で行われていること、地域ぐるみで取組をされていることを知ることができ、参考になった。



### R4年度の開催の様子



録画配信も行い、事業終了後は1の成果報告については、農林水産省youtubeチャンネル（maffchannel）で配信。

先進的な活動をされている高校や企業の技術を学び自校での授業につなげたい。

林業の学科は少なく他校との情報交換がほとんど無い状況にある中、このような貴重な機会を設けて頂いたことに本当に感謝。できれば今回の先生方と情報交換したい。

次受講したい単元の上位は  
・森林経営の計画と管理  
・造林  
・木材の流通

### サミット満足度

